

# 海からの「御恩」と「御恩返し」

～ワークショップ、インプロシアター「TILT」公演～

沖縄県石垣島におけるサンゴ礁保全の普及啓発活動

## 報 告 書

平成23年11月

八重山サンゴ礁保全協議会

吉田 稔

## 海からの「御恩」と「御恩返し」

実施日：2011年9月17日（土）

実施場所：沖縄県石垣市

会場：環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター  
石垣市市民会館中ホール

主催：八重山サンゴ礁保全協議会

協賛：石西礁湖サンゴ礁基金  
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

後援：石垣市  
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会  
石西礁湖自然再生協議会  
株八重山毎日新聞  
株八重山日報

## 目 次

1. はじめに	4
2. 海からの「御恩」と「御恩返し」の概要	5
3. 活動報告「高校生のためのサンゴ礁保全ワークショップ」	6
4. 活動報告「インプロシアターTILT 公演」	10
5. まとめ	12
6. 公演参加者アンケート	13
7. ワークショップ参加者名簿	16
8. 企画実行スタッフ名簿	17
9. 付録	21

## 1. はじめに

近年、八重山のサンゴ礁の状態は、オニヒトデ大発生、サンゴの白化現象などいろいろな乱要因で年々悪化しており、豊かなサンゴ礁生態系をも破壊する結果につながると危惧しております。私たちは、私たちの財産であるこの豊かなサンゴ礁を守るも、破壊するも、ひとりひとりの意識と行動だと強く感じております。

私たち八重山サンゴ礁保全協議会は、1990年以來、八重山のサンゴ礁をいろいろな角度・方法から保全する活動をして参りました。

普及啓発活動では、サンゴ礁とふれあう機会の場合として「海の観察会」、「稚オニヒトデ調査」などを行い、環境教育の一環としては、海辺の環境教育フォーラムの参加や教育機関などと連帯してリユース食器の貸し出しなどを行っています。

さて今回のサンゴ礁保全は、まったく新しい試みに挑戦しました。それは地域住民のサンゴ礁保全の意識を向上させていく企画として、東京よりインプロシアターTILTと沖縄本島からコミュニケーションのプロセミナー講師を招き、昼は高校生対象に「海からの御恩と御恩返し」というテーマでワークショップを開催し、夜は同じテーマでのインプロライブを開催いたしました。

聞きなれないインプロとは即興演劇のことで、台本や打ち合わせ無しに、お客様な言葉から、お芝居を作っていく芸術です。お客様はハラハラドキドキしながら、笑い感動のなかで無意識のうちに、今回のサンゴ礁保全について、改めて理解と認識を深めて頂いたと感じております。

この企画が、盛況のうちに終了できたのも開催に関して協力していただいた多くの関係者や実行スタッフの皆さんの協働があったからで感謝の一語に尽きます。

近い将来、この企画から得た多くの収穫を教訓にして一層より良いものを作り、またどこかで第二弾、第三弾を開催したいと考えています。

最後に今回の企画に賛同され、ご協賛いただき助成金を捻出していただいた石西礁湖サンゴ礁基金、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会と、ご後援頂いた石垣市、沖縄県サンゴ礁推進協議会、石西礁湖自然再生協議会、八重山毎日新聞、八重山日報に、この場をお借りして、改めてお礼と感謝をいたします。

八重山サンゴ礁保全協議会

吉田 稔

## 2. 海からの「御恩」と「御恩返し」の概要

### ★企画の目的

八重山の海は、海中景観の美しさ、生物の多様性、その広さなどから日本屈指のサンゴ礁域である。しかし、近年サンゴの白化現象、オニヒトデ大発生、慢性的な赤土と生活排水の流入などから、年々海域の悪化が顕著になってきている。このような背景の中、次世代にこのすばらしい自然環境を引き継ぐためにもサンゴ礁の保全活動がたいへん重要になってきている。本企画は、サンゴ礁保全の普及啓発活動の一環として、広く地域住民に向けて保全の意識向上を図るために実施した。

### ★インプロを通して、サンゴ礁からの「御恩」と「御恩返し」を考える。

○日時：2011年9月17日（土曜日）

第一部 12時～15時30分 ワークショップ（石垣島の高校生25名）

第二部 19時～21時 インプロシアター「TILT」公演（プロ集団による感動即興劇）

○ 場所：第一部 ワークショップ（環境省の八島町モニタリングセンター）  
第二部 石垣市民会館中ホール

○ 目的：八重山サンゴ礁保全協議会と演劇プロ集団のインプロシアター「TILT」が、協働し昼のワークショップでは八重山商工生（約30名程度）で子供たち自身へ、夜のライブでは八重山地域住民に対して広くサンゴ礁保全の行動を起こすための普及・啓発活動を行う。

○ 内容：

第一部 ワークショップ（12時～15時半）場所：環境省モニタリングセンター  
八重山商工高校と八重山高校の高校生が専門のファシリテーターと共に、サンゴ礁の現状を知り、その恩恵（重要性、貴重性）を高校生自らの視点で深く探求し、将来の八重山の海に自分たちが何をしていくべきか（御恩返し）を考え、その自発的な行動を築く。

第二部 インプロ公演（19時～21時）場所：石垣市民会館中ホール（200名程度：入場無料）

現役プロ集団のインプロシアター「TILT」のパフォーマンス「YOUR STORY～海の思い出」を観劇。サンゴ礁、海などに関する題材をすべて客席から頂き、その場で作り上げていく笑いと涙と感動のライブを実施する。

### 3. 高校生のためのサンゴ礁保全ワークショップ

『海からの御恩と御恩返しを考えるワークショップ』

日時：2011年9月17日（土）12：00～15：30

場所：環境省国際サンゴ礁保護研究・モニタリングセンター

参加者：八重山商工高校 商業科 観光コースの生徒さん17名と先生2名

八重山高校 普通科 演劇部の生徒さん6名と先生1名

ファシリテーター：佐久間 一生（TILT 主宰、俳優、大学非常勤講師）

豊田 麻琴（プロフェッショナルコーチ、セミナー講師）

嘉手苺 力（プロフェッショナルコーチ、セミナー講師）

吉田 稔（八重山サンゴ礁保全協議会 代表）

☆アイスブレイク（インプロ手法を使ったアクティビティ） 担当：佐久間一生

このようなワークショップにはたいへん重要な時間です。初対面の人も多いのでより打ちとけ合えるよう楽しい時間をとっていただきました。しかし、ただ楽しいだけではなくインプロの手法を通して、人に気持ちを伝える方法、失敗を逆に楽しむ方法、言語・非言語で意思を伝える方法など遊び・ゲーム感覚の中にもコミュニケーションに大切な要素が多く含まれていました。



#### ☆サンゴ礁の現状を知る 担当：吉田稔

日常的に海に入っている漁業者やダイビング関係者以外の島に住む地域住民は、「陸から眺めるサンゴ礁は美しいエメラルドグリーン」、「日本屈指のリゾート地」、「押し寄せる観光客」、「世界有数のダイビングスポット」などのイメージがあり、まだまだイケている感が強いと思います。しかし、復帰後年々サンゴ礁はいろんな要因から悪化の一步をたどっています。現在、懸念されるサンゴ礁のかく乱要因の5つ（生活排水、過剰利用、白化現象、赤土流出、オニヒトデ）を簡単に説明しました。



#### ☆チーム分けとテーマ選択

全員で行ったインプロのアクティビティから、サンゴ礁の現況を聞いた後で、参加者が7~8名に分かれ「かずきチーム」、「まきチーム」、「ちからチーム」を作りました。そしてそれぞれのチームが、サンゴ礁の5つのかく乱要因（生活排水、過剰利用、白化現象、赤土流出、オニヒトデ）の中から話し合っ一つを選びました。

かずきさんチームは「過剰利用」、まきさんチームは「白化現象」、ちからさんチームは「生活排水」を選択しました。



☆テーマにそって BAD ストーリーを考えよう。

それぞれ選択したテーマは、高校生にとってあまりなじみのないものばかりです。しかし、八重山の未来の海を考える良い機会なので、少し真剣に自分の事としてテーマに取り組んでもらいました。

それぞれのチームのファシリテーターは、コーチングのプロなので、やる気のでる質問がバンバン出て、高校生はしっかりと自分自身で探求していきました。

しかし、漠然と考えても何も出てきません。そこでもし、このテーマが大変悪くなったらどんなことが起きるか想像して意見や考えを出してもらいました。



☆テーマにそって HAPPY ストーリーを考えよう。

たとえば、「毎年のようにサンゴの白化現象が起きたら 10 年後には、どんなふうに八重山のサンゴ礁はなってしまうだろうか!」、「八重山の住む人々の暮らしはどうなるだろうか!」、「八重山に住む人の心の中はどう変わってくるだろうか!」など、いろいろ考えてもらった後、今度は、逆にサンゴの白化現象なんてどんな感じだったというぐらいサンゴ自体が元気いっぱいピカピカのサンゴ礁が毎年よくなったら・・・どんな感じなんだろう。





☆各チームの特徴、ユニークさを発揮しての発表。

約1時間にわたって、各チームでなじみのないテーマに取り組んでももらいました。そして、各チームで話し合っって今回の大きなテーマである「海からの御恩と御恩返し」を念頭に置き、その成果をそれぞれ独自のやりかたで発表をしてもらいました。

それぞれのテーマは昔の公害問題のように悪いものを使わなければよい、とめればよいというような簡単なものではなく、人間生活や自然の営みが深く関与しています。

しっかりとした答えはなかなか出ないですが、自分の事として考えるプロセスを大切にしてもらいました。



#### 4. インプロシアターTILT 公演

《 !!インプロとは・・・台本や打ち合わせ無しで作る即興演劇!! 》

お客様にいただいた言葉から、お芝居を作っていく芸術です。笑いあり、たまには涙もあり、何が出るかわからないドキドキを楽しんでいただきます。

##### ☆公演内容

###### 『ペーパーズ』

役者は、お客様に言葉を書いていたペーパーを拾いながらシーンを進めていきます。しかし、次々と飛び出すペーパーの言葉たちは時のシーンの流れを大きく変えてしまうことも・・・。

そんな状況でも役者は、動じずにシーンを展開していけるのでしょうか？

###### 『ショートストーリー』

お客様から頂いたペーパーを引き、そこから短いストーリーを作ります。次々に演じられる、短いストーリーは、違う単語から始まっているのですが、いつしか関連した、ストーリーになっていたり、いなかったり・・・。ジェットコースターのように変化をしていくインプロです。

###### 『スタイルリプレイ』

お客様のペーパーから、まず短いストーリーを作ります。次に、同じストーリーをミュージカル、官能小説、青春ドラマ、極道物、ホラー、新劇、大衆演劇など、様々なジャンルで演じ分ける、大好評の出し物です。

###### 『誕生プレゼント製造工場』

会場の客様の中から、公演日に近い誕生日の方を募り、その方の欲しいモノをTILTのメンバーがあたかもプレゼント工場のように体で表現しながら、作り上げます。

###### 『メモリーズ』

最初に、数名のお客さんの中からおひとりの方に、海に関する思い出を訊かせていただきます。

「今まで人生の中でもう一度会いたい人は誰ですか？」

「その人に会ったとしたら、なんと声をかけたいですか？」

「その方との海での思い出は？」などなど。

そして、その思い出をTILTのメンバーが大切にお芝居に作り上げ、お返しするというものです。

笑いあり、そして感動あり。TILT 最大の見せ場です。

今回は、八重山在住の女性に幼いころ沖縄本島で過ごした海水浴の思い出を中心に即興劇を作ってもらいました。



\*インプロシアター「TILT」石垣公演の状況は、別途DVDでまとめています。

## 5. まとめ

サンゴ礁保全の普及啓発活動の過去の事例としては、海の観察会、海岸清掃活動などが行われてきました。期待される効果として地域住民がサンゴ礁の状況を正確に知り、八重山の将来のサンゴ礁についてどのように考え、実際に出来る範囲で継続的な行動につなげていくことを伝えることが最も大切なことと思います。

今回は、参加者が実際にはサンゴ礁の海に入ったりしないけど、新しい試みとしてサンゴ礁が参加者の自分事として、海について深く自分と語り合える機会を作ることに焦点をおきました。

企画のポイントである「インプロ」とは台本のないお芝居で、先が読めないがうまく芸術として作り上げていくものであります。サンゴ礁保全も台本もなく先が見えないですが、インプロと同様になんとか手探りで進めていくのが重要なことと思います。今回のようにインプロの要素をいれて、表現力、聞く力などコミュニケーション能力を高め、行動に結び付けていくという違った視点からの保全活動の取り組みも今後重要になってくると考えます。

何度も書きますが、これからのサンゴ礁を良くするも悪くするも、すべて人の手にかかっています。ゆえに、できるだけ多くの人々の心の中に強くサンゴ礁保全の意識をもって生活していくことが大切です。

あまり海に入らない高校生や地域住民は、サンゴ礁の悪化などについて問題意識はあるものの実際どう行動していったらよいかわからないのが現状であると思います。つまり、対岸の火事的な他人事になってしまうのです。

そこで、おもしろおかしくワークショップやインプロ劇を体験して、サンゴ礁の状況を知り、自分たちの住むこの島で何が出来るかを考えて、行動につなげてもらうように心がけました。アンケートにあるように、多くの地域住民に影響を与えたものと確信しております。

### 『これからのサンゴ礁保全に対する課題、提案』

↓まだまだ、地域住民はサンゴ、サンゴ礁の理解が不十分な状況である。

↓しかし、定期的にサンゴ礁保全の普及啓発を伝えていく人材が少ない。

↓ゆえに地域住民は、八重山の海の将来像が明確でない。

○サンゴ礁保全は人が行うから、サンゴ礁の現状をより多くの人を知る機会を作る。

○意識を伝えて向上させていくものであるから、地域と連帯してインプロなどの要素を入れたコミュニケーションの技術を導入して意識を高めていく。

○キーワードは、「正確な知識」、「体験」、「実感」、「感動」、「行動」。

## 6. 公演参加者アンケート

海からの「御恩」と「御恩返し」インプロシアターTILT 公演に参加していただいた方々約 100 名のうち、52 名の方がアンケートに回答していただきました。ご協力ありがとうございました。以下アンケートの結果をまとめました。

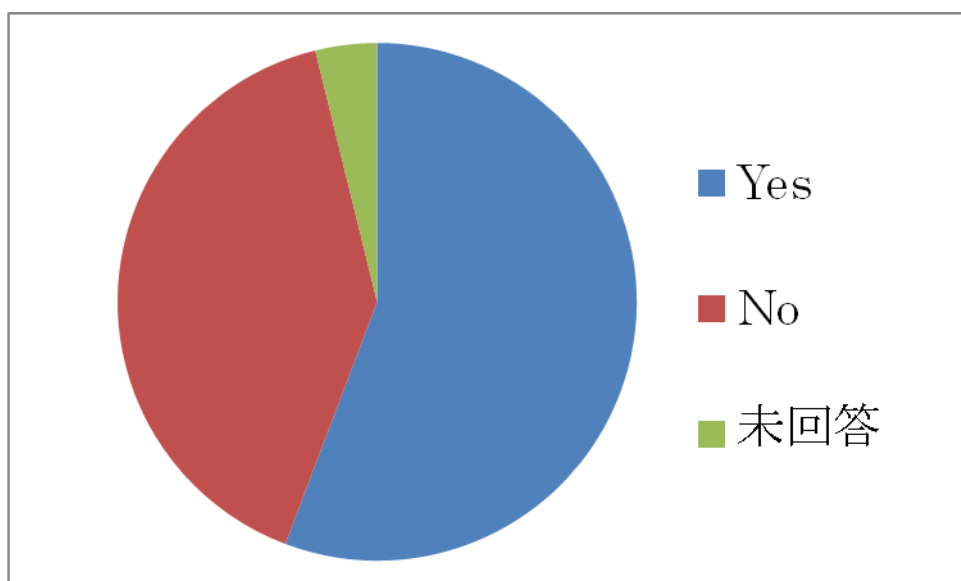
### ★インプロシアター「TILT」のパフォーマンスについて？

という問いに対して、参加していただいたほとんどの人がインプロという言葉も初めて聞くし、お芝居というものも石垣島では、あまり上演されないということもあってたいへん新鮮で感動など大変素晴らしい評価をいただきました。

その中でサンゴ礁保全とは少し関係ないのではないかというような厳しい意見も頂きました。海やサンゴ礁というメッセージを多く入れられるような進行も今後考慮したいと思います。

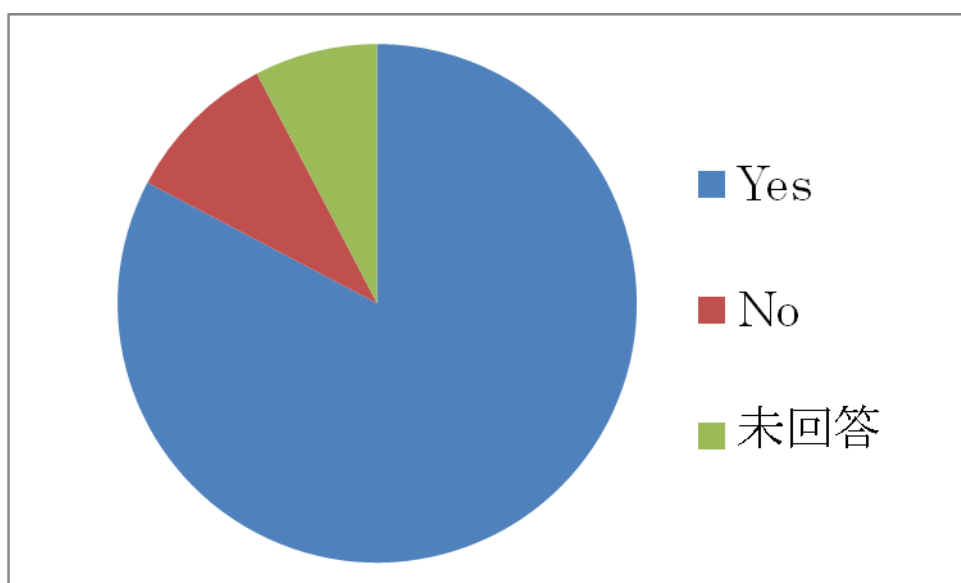
- ・即興での劇は面白いし、見ている私も楽しくなりました。ピアノの音もいろんなパターンがあってすごいと思った。お客さんも一緒になって楽しめる。幸せな気分になれました。楽しく幸せな時間をありがとうございました。
- ・とても楽しい時間を過ごすことができました！！ありがとうございました。見に来てよかったです。もっと見たかった～尊敬、感謝！
- ・とてもすばらしくあたたかい。
- ・めっちゃ上手でした。即興なのにちゃんと立ち位置とかセリフがかぶったりしなくてすごかったです。自分も劇団に入っているのですが、夢は俳優になることです。いるか東京でまた会いたいです。
- ・凄く面白くて、たくさん久しぶりに笑いました。最後の劇は涙が少しでちゃいました。これからもがんばってください。
- ・その場で劇をしてすごいと思いますが、サンゴの海とはあまり関係がなかったと思う。
- ・楽しく見させていただきました。子供たちも楽しめました。ありがとう。
- ・いっしょにハラハラドキドキしつつも、「すごい」「その場で作っているとは見えない」役者さんの場から作り出すエネルギーも鳥肌でした。ありがとうございました。
- ・すごすぎます。自分でもやってみたくなりました。即興でやるというのに魅力をひかれ見ている方もとても楽しい。
- ・初めてインプロというものを観ました。面白かったです。書いた言葉がとりこまれるのがこうなるのかと、予測不能で人生縮図のようです。
- ・笑いあり涙ありのとても素晴らしい劇でした。感動しました。

★八重山サンゴ礁保全協議会をご存知でしたか？



アンケートに回答していただいた 52 人中 29 人の人が、八重山サンゴ礁保全協会をご存知ということで、これからもより多く保全活動の報告などを発信していきたいと思えます。

★海やサンゴ礁への理解は深まりましたか？



アンケートに回答していただいた 52 人中 43 人の方が、海やサンゴ礁への理解が深まったと回答していただきました。身近なところからサンゴ礁保全を考えるよい機会であったと思います。まさにこの結果が物語るように、今回の企画がよい成果・高い評価を得られたと感じています。

★サンゴ礁保全について、ご意見、ご要望をお聴かせください。

公演を見に来てくれた方々は、高校生、中学生、主婦など普段、直接的に海、サンゴ礁に関わっていない方々がほとんどでした。このような層からの意見、要望はたいへん参考になります。

- ・自分の出来る事を探して、サンゴについてよく知り、海を大切にしたいと思いました。
- ・このきれいな海、サンゴを守る努力をしたいと思いました。
- ・午後のワークショップでとても海やサンゴ礁を大切にしないといけないということを、楽しみながら学ぶことができました。考えたら次は行動や。
- ・ワークショップでオニヒトデの話聞いて、実際今どようになっているのか見てみたいと思った。
- ・サンゴ礁保全のことについて、もっと勉強したいと思いました。
- ・一人一人が自分の問題として捉えることが重要だと思いました。
- ・サンゴの保全をしたい気持ちになりました。
- ・サンゴに関して限定で、言葉を書かせたら better? 伝えたいこと 100 ぐらい引き出しを作っておいて……。勉強されていたのなら出せなくてもったいないと思いました。沖縄の方言とかとてもよかったです。
- ・ワークショップでサンゴのことをいろいろ学んで、自分にできることをやって、サンゴを守りたいと思いました。そして、思うだけじゃなくて行動しなきゃいけないことがわかりました。
- ・サンゴ礁保全のことについて、もっと勉強したいと思いました。
- ・サンゴを守りたい、何より大切なものだから。
- ・「知る」ことから何事も始まる。そして、それを行動につなげ続けていくことだと思います。もっと身近に知る機会がほしいです。
- ・身体をつかっつての保全活動が必要。
- ・個人の思い出を中心に海の保全を考えることができれば、もう少し身近に感じられるんじゃないか名と思います。
- ・沖縄県民としてサンゴを大事にしないといけないと思いました。
- ・もっと（八重山サンゴ礁保全協議会の）知名度を上げてほしい。
- ・石垣の海は本当に大変です。もっと意識をしないといけない。
- ・募金を通して協力できればと思います。
- ・たくさんの方の角度から見た、いろんな人が幸せになるような保全ができればいい。